

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 伊集の木会 複合施設 新川の杜 放課後等デイサービス いじゅの木あらかわ			公表日	令和 7 年 5 月 28 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	施設の屋外スペースや相談室も活動に活用し、各児童が十分なスペースで活動できるよう、対処している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	遠足行事等で人手が必要な際は、法人内の他事業所と連携し、自事業所の職員体制に加え、人員サポート体制を整えている。	退職者が出た場合に速やかに職員補充ができる体制作りが必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	相談室、静養室等のスペースを活用し、個別に過ごしたい場合は利用できるように対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	毎月の会議時や、日々のミーティング時に業務に対する意見を共有し、立案、改善に当たっている。	事業所内の話し合いは行えているが、目標設定・振り返りについては不十分な部分があり、今後改善の余地がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者向け評価表の内容から、活動内容や行事の見直し、実施に繋げている。	保護者向け評価表の内容は把握、共有されているが、具体的改善に繋がっていない部分がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎月の会議時や、日々のミーティング時に業務に対する意見を共有し、立案、改善に当たっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	相談支援専門員や学校関係者等の見学、学生の実習受入等を積極的に行い、第三者からの視点を取り入れられるようにしている。	第三者による詳細な外部評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	外部研修についての情報を積極的に取得し、研修受講に繋げている。	外部研修の参加機会が多いが、法人内の事業所同士で研修、学習する機会が少ない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	職員間で話し合い、支援プログラムを計画・立案している。支援プログラムはホームページで公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	個々の児童に対し、アセスメントを行い、ニーズや課題を分析し、支援計画を立案している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	モニタリング会議、個別支援会議を行い、全職員が個別支援計画の内容を理解した上で支援に当たれるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援計画の共有、内容についてのすり合わせを日々のミーティング時など随時行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		フォーマルなアセスメントは不十分で改善が必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに沿った内容、項目を踏まえ、支援内容の計画、支援の実施を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎月の会議や日々のミーティングにて活動プログラム、行事の計画を行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	毎月の会議や日々のミーティングにて活動プログラム、行事の計画や内容の検討を行っている。		

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動、集団活動を組み合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	日々の申し送り、ミーティングの時間を設け、情報共有を行い、連携した支援を行っている。	夏休み等長期休暇中など時間が限られる場合の情報共有に工夫が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	業務終了前に必要なことについて、共有を行っている。業務時間の都合上、行えなかった場合は翌日に共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援内容について記録を行い、全職員で確認、共有できるようにしている。毎月の会議で月次振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	1年に2回以上のモニタリングを行い、支援計画の見直しに当たっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管のみではなく、個々の児童に応じた担当者も情報共有の機会に参加するよう工夫している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	支援学校との連携、情報共有はまめに行っている。	学校、相談支援事業所以外との連携は不十分。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	日々の送迎時や担当者会議において、学校との密な情報共有に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	就学前に利用していた児童発達支援事業所と情報共有を行っている。	就学前に利用していた保育園との情報共有は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	卒業後の進路に当たる就労移行支援事業所等に出向き、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		児童発達支援センターとの連携は行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	児童館を訪問し、活動する機会を設けている。	同じ場で活動は行っているが、交流については不十分な状況。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	自立支援協議会が実施される場合は積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々の送迎時の情報共有や、必要がある際はモニタリング時以外にも面談の機会を設けている。	多忙により、情報共有の機会が少なくなってしまう保護者の方もいる。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族支援プログラムの情報があつた際は、対象者に向け、情報提供を行っている。	家族支援プログラムは実施していない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、モニタリング時等に説明、案内を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	日々の送迎時の情報共有や、必要に応じモニタリング時以外の面談を設け、保護者からの相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者が参加できる行事を実施し、交流の機会を設けている。	保護者会の実施や、きょうだい同士の交流の機会は作れていない。

保護者への説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月、事業所の便りを作成し、情報を発信している。	HPは改修予定。今後、情報発信の改善に向け、検討していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	事業所の職員間、相談支援専門員等の関係者とも情報共有しながら、配慮した対応を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	季節の行事等を周辺事業所と合同で行っている。	事業所内に地域住民の招待は行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し、訓練を実施している。救命講習等の学習の機会も設けている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	計画の策定と年2回の訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1		服薬状況の確認が不十分な児童がいる。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	計画、マニュアルを策定している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時、モニタリング時等に説明、案内を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	「ヒヤリハット」事案があった場合は、内容の共有と記録を行い、再発防止について職員間で話し合い、対応の改善を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	外部の虐待防止研修、事業所内での研修、学習会を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			